

安久美神戸神明社 (あくみかんべしんめいしゃ)



伊勢神宮の神領『安久美神戸神明社』と 徳川家康が見た『豊橋鬼祭』

安久美神戸神明社は、平安時代、伊勢神宮の神領「飽海神戸 (あくみかんべ)」に創建された神社で、吉田城を鎮護する武将の崇敬篤い神社でもあります。ここで行われる『鬼祭』は“赤鬼と天狗のからかい”神事が有名で、赤鬼のまく厄除タンキリ飴と白い粉により参詣者は粉まみれとなります。神社の歴史と『鬼祭』について、徳川家康が鬼祭を拝観した逸話含め、神職よりご説明をいただき、参拝をいたします。

ここがポイント！

- ・安久美神戸神明社の御由緒、登録有形文化財（建物）のご説明
- ・国指定重要無形民俗文化財『豊橋鬼祭』のご説明
- ・徳川家康公にまつわる『東照宮御腰掛松』のご案内



※過去の「豊橋鬼祭」の様子